

2015 世界核被害者フォーラム・第4回プレ企画

シンポジウム 8・6ヒロシマ国際対話集会—反核の夕べ

世界核被害者フォーラムで何をめざすか—核被害の原点から—

広島・長崎被爆70周年の夏、ウラン採掘、核兵器、原発、劣化ウラン兵器など核利用のサイクルによりもたらされている非人道的被害の原点から、あらためて「核と人類は共存できない」ことを確認しましょう。

安倍政権は、福島核災害に蓋をし、原発の再稼働・海外への原発輸出、核兵器保有の意図をもった使用済み核燃料再処理によるプルトニウム備蓄などの核利用サイクル政策を推進しています。

核利用のサイクルの過程で引き起こされている世界各地の甚大な核被害の根っ子を断ち切るべく国際的な連帯のネットワークを築くため、広島・長崎被爆70周年の今年11月に「核のない未来を！世界核被害者フォーラム」を開催します。本シンポジウムでは、目前に迫った世界核被害者フォーラムで何を獲得すべきか、今焦点の課題は何か、現実の厳しく厚い壁に立ち向かい得る叡智と力を探りましょう。



〈基調講演〉

今中 哲二さん

京都大原子炉実験所助教

『広島・長崎、チェルノブイリ、
福島の被曝調査から
科学の限界と研究者の役割』

日時：8月6日（木）15：00－18：30

場所：広島市まちづくり市民交流プラザ6F
改称：合人社ウェンディひと・まちプラザ
マルチメディアスタジオ
広島市中区袋町6番36号
参加費：資料代 700円（学生無料）
交通：広島電鉄宇品線1番線
「袋町」・「本通り」下車徒歩5分

〈パネルディスカッション〉 ■パネリストご紹介



*本田 歩さん
福島高専4年生
福島2014高校生平和大使
【原発核災害に立ち向かう若者の訴え】



*ポリネシア仏核実験被害者
【太平洋核実験による環境
・生活基盤の破壊の状況】

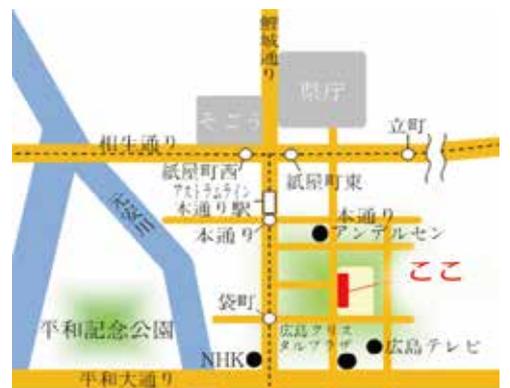


*日野 彰さん
福島県教職員組合
原発災害対策担当執行委員
【原発事故災害による教育現場の実態】



*アンエリス・ルアレンさん
カリフォルニア大学助教授
【抑圧される先住民の核被害】

■コーディネーター 森瀧 春子さん
HANWA共同代表 世界核被害者フォーラム実行委員会事務局長



主催：世界核被害者フォーラム実行委員会
：核兵器廃絶をめざすヒロシマの会
：ICBUW-Japan（ウラン兵器禁止を求める国際連合・日本）
連絡先：090-9064-4705（森瀧）